

## 2017年度 第1回インストラクター研修会を開催

4月16日にみやぎ生協めぐみのサッカー場を会場に、2017年度第1回インストラクター研修会を開催しました。

今回の研修会は事前に試合の映像を共有し、分析して参加していただき、「審判員のパフォーマンスを評価・分析し、試合後のフィードバック」を行うための演習を仮定し、グループワークにて「審判員の良かったところ」「審判員の課題」を各グループごとに発表しました。

その後、加藤委員長より「チュータリング」の手法についての確認を行いました。



### 鮎貝 志保 S級インストラクター コメント

私が担当したセッションでは、前半は1/S級インストラクター研修会の情報共有、後半はグループワークと分析の一考を紹介しました。インストラクターの皆さんには、積極的に参加していただき、活発な意見交換ができたと感じています。特に後半のグループワークでは、リラックスした雰囲気の中で、相互に協力、協働して課題に取り組む姿勢が見られ、「宮城県の審判員のために」という本気の姿勢がひしひしと伝わってきました。また、分析の一考として西村雄一氏に映像分析を行っていただきましたが、特に映像分析の構成や進め方を今後の指導の参考にしていただければと思っています。

### 阿部 めぐみ 2級インストラクター コメント

研修会に参加させていただき、基本的な競技規則の再確認やインストラクターとしての知識、また審判員を指導するうえで大切なことなど、多くのことを学ぶことができました。試合映像を見てのグループディスカッションでは、一方からの見方だけでなく多様な見方や考え方を共有し、深くコミュニケーションを図ることができました。

また、西村氏の講義の中では、ファウルやフリーキックのマネジメントのポイントや、些細な仕草や態度によって説得力に大きく差が出てしまうことを実際に体で表現していただき、わかり易くとても勉強になりました。

研修会を通し審判員を指導するにあたり、「褒める」「認める」ことに加え、「考えさせる」ことの重要性や、適切な質問の仕方やチュータリングの技法を活用し、審判員から「考え」を引き出すことの必要性を学びました。

今後、このような研修会で学んだことを活かして、少しでも若手審判員の普及、育成に貢献していけたらと思います。

### 小山 裕幸 3級インストラクター コメント

昨年度に3級インストラクターを取得しましたが、今回、諸先輩方とともに学ぶ機会を得られたことがとてもよかったと思います。映像を事前に分析していましたが、グループを組んでディスカッションしたことで、また、多くの方と意見を共有しあえたことで、視点を増やすことができました。西村さんの分析では、試合の中での良い変化や必須の改善点、そして、課題が起こる背景を丁寧に読み取り、審判員の長所を認め、意欲を高められるような視点を具体的に示していただき、大変勉強になりました。

審判員自身が課題に気づき、改善していくための方法としてチュータリングがキーになることや、そのためのインストラクターとしての関わり方が大切であることを感じました。知識として教授する部分とあいまな理解を整理する部分とを考慮して、審判員と関わっていけるように、この経験を生かしていきたいです。